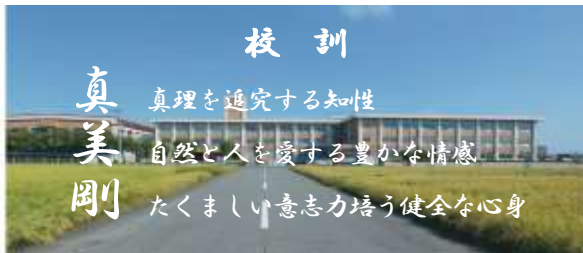


令和3年度 福井市藤島中学校 スクールプラン



【めざす学校】

- 1 安全で安心できる学校
- 2 地域から信頼される学校
- 3 自治を育む学校

教育目標

豊かな心を持ち、仲間とともに向上していく意欲あられる生徒の育成

市教育目標

郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる
子どもの育成
福井市学校教育方針
地域に根ざす「学びの一貫性」

【めざす生徒像】

- 1 目標をもって主体的に学ぶ生徒
- 2 感謝と思いやりの心をもつ生徒
- 3 たくましい行動力をもつ生徒

【めざす教師像】

- 1 授業力の向上を図る教師
- 2 生徒の内面を理解できる教師
- 3 集団づくりのできる教師

学
び
続
け
る
教
師

学習の「藤中アプローチ」を確立・発信

確かな学力の向上

- ◎ 自ら学ぼうとする意欲を高める指導の工夫
- 「できた」「わかった」を実感できる授業づくり
- 基礎学力の向上と定着

- 自ら学ぼうとする意欲を高める指導の工夫・改善を進める。
 - ・生徒が自分に必要だと考える学習に積極的に取り組めるようになるための支援
 - ・家庭と協力して進める、主体的に取り組む家庭学習の推進
 - ・課題の出し方、取り組みせ方の工夫
 - ・「やる気」を引き出す指導の研究
- 授業力向上の取組を充実させる。
 - ・「振り返り」や「学びの成果の確認」を活用した授業の実践
 - ・小グループによる授業公開・研究
 - ・ICTを活用した授業づくりの研究推進
- 読書活動推進に向け、時間の確保に努める。

☆授業に主体的に取り組んでいると答える生徒 90%
☆授業がよくわかると答える生徒 90%
☆宿題以外に、自分で考え・決めた学習を家でしていると答える生徒 80%

豊かな心と健やかな体の育成

- ◎ 生徒主体の自治的活動の推進
- 認め合い、高め合える集団づくり
- 自他ともに尊重し合う心の育成

- 学級、学年、部活動等全校で生徒主体の自治的活動を工夫・推進する。
 - ・クラウド（異学年集団）活動の工夫・充実
 - ・生徒集会の運営を通して生徒リーダーの育成
 - ・企画運営を生徒が手がける学年・学校行事を推進
- 道徳教育・人権教育を充実させ、人を思いやる人間関係づくりを推進する。
 - ・いじめアンケート等を使った生徒情報の迅速な共有
 - ・教師の生徒理解力の向上
- 情報モラルやネット利用の指導を推進する。
- 体力向上への意欲を高める指導を推進する。

☆学校が楽しいと答える生徒 95%
☆クラウドでは協力し合い、充実した活動ができていると答える生徒 95%
☆自分は誰かのために役立っていると思うと答える生徒 80%
☆学校は「互いに認め合い高め合う集団づくり」に取り組んでいると答える保護者 80%

地域に根ざした学びの創造

- ◎ 学校の「見える化」のさらなる推進
- 家庭・地域との連携推進と充実
- 中学校区内各小学校との連携

- 親しみやすい学校のために「見える化」を推進する。
 - ・ホームページブログを核に、学校公開の回数を増やし学年だより等での情報発信を積極的に行う
 - ・公民館と連携し、行事案内を校区内全家庭に回覧
- 小中連携行事での児童と生徒、職員の交流や協働により、学びの一貫性の強化に努める。
 - ・小中接続のための体験、情報交換のさらなる充実
- 地域に根ざす活動の充実を図る。
 - ・ボランティアに参加しやすい体制を整備
 - ・社会貢献活動（公民館・自治会と連携）

☆授業参観や学校行事等、学校での教育活動の公開が十分なされていると答える保護者 90%
☆子どものことで気軽に学校に相談できると答える保護者 80%
☆地域の行事やボランティア活動に参加する大切さを意識的に指導していると答える教師 85%

業務改善のための取組 ★常設の業務改善委員会を活用し、教員の平均勤務時間をさらに1時間削減。 ★ICT機器の有効活用で、校務の情報化を推進し、事務量を削減する。